

事業所名		のびのび広場 エミタス的場 教室				支援プログラム		作成日		2025 年		11 月		26 日	
法人（事業所）理念		「みんなの未来を笑顔にする」～「笑み」を「足す」エミタス～													
支援方針		【自立（律）力】（自ら立つ/自ら律する）…色々な経験や体験をしながら、将来に繋がる力を身につけていけるように、支援していきます。 また、変化の多い社会の中を、子供たちが、いつまでも【笑顔】で【自分らしく】生きていけるように、「生きる力」「考える力」「行動（チャレンジ精神）力」が、養われるよう、自由時間や活動を提供していきます。													
営業時間		平日 11 時 30 分から 17 時 30 分まで				送迎実施の有無		あり		なし		放デイ（送迎場所/距離などによっては、応相談） 児発（送迎なし）			
		土曜・祝日・長期休暇 10 時 00 分から 16 時 00 分まで													
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	「自分のことは、自分でやる」を目指しています。 通所から退所するまでの間に、自分で取り組めるものを一つでも増やしていけるようにし、教室でできたことをご家庭や事業所以外の場所でもできるように、支援していきます。 例 「入室後の荷物整理」 ①スタッフと一緒にやる ②スタッフの声掛けで出来る ③事前にやる事を確認/通知し、入室後自分で気付いて出来る ④自分で考えて出来る このように、ステップを踏みながら、【健康/生活】に関わる事が、一つでも自力で出来るように、支援していきます。 支援場面 ・通所/退所時の荷物整理や管理、衣服の着脱 ・入所時/おやつ/調理時の手洗いとうがい ・玩具の片付け ・教室内清掃（雑巾がけなど）													
	運動・感覚	「楽しく、体を動かすことが出来る」「色々な動きを経験/体験する」を目指しています。 自由時間や活動などで、体全体を使う粗大運動や、手先を使った微細運動を行う時間/機会を設けています。また、土曜日/祝日/長期休暇などでは、近隣の公園や児童館に移動し、体を動かすこともあります。 ※外部講師による、ダンスも2回/月の目安で、行っております。 例 粗大運動…動物模倣（四肢の動きや体幹/バランス力） キャッチボール（力加減/追視力/空間認知など） だるまさんがころんだ（気持ち/体の切替） 雑巾がけ（体幹/バランス力） 例 微細運動…レゴやブロック、積み木（指先の動き/力加減/集中力） 制作/工作活動													
	認知・行動	「自ら考え、行動することが出来る」を目指しています。 自由時間や活動などにおいて、様々な経験/体験をしていくことによって、色々な概念や考え方、動きを知ってもらいます。知ったことや経験をもとに、自ら考え、行動することに繋がるよう支援していきます。 例 時間概念 環境設定（タイムスケジュールの可視化やタイマー使用など） 支援 ： 事前通知などの声掛けにより、定着/意識付け 例 自由時間の遊び 環境設定（遊び方やルールのベースは、指導員が提案するが、実践していく中でのアップデート（更新）を、子供たち自身に考えて、提案してもらう 支援 ： 基本的に見守ります。実施していく中で、自分と他者とがどのように感じたかを振り返り、やり方やルールを調整/更新していく													
	言語 コミュニケーション	「他者と楽しく関わることが出来る」を目指しています。 通所から退所するまでの間に、1日1回は、他児と他者との関わる機会を設けられるようにしています。児童同士の関わりの際、初めのうちは、指導員が介入し、双方の名前を呼ぶことや関わり方の見本を見せるなどし、物の貸し借りや共同作業、ボール遊びなど、他者の認知が出来るように、また、他者との関わりが楽しく感じられるように支援していきます。他者との関わりが増えた際には、基本的に見守りますが、必要に応じて、適宜声掛けや関わり方の見本を見せていきます。 例 自由時間 ： 挨拶（言語やハイタッチ/絵カードなど） 物の要求（言語や絵カードなど） 自由遊び（物の貸し借りやキャッチボール/ボール転がしなど） 活動 ： 自己紹介/他己紹介 運動（二人一組で行うペア運動）													
	人間関係 社会性	「他者と楽しく関わることが出来る」「自ら考え、行動することが出来る」「順番/ルールを守り、楽しく生活が出来る」を目指しています。 色々な療育活動に参加することで、他者との関わり方（相手の気持ちを考える/考える）や社会性（ルール理解/順番を守るなど）が、出来るように支援をしていき、最終的に、「自分が楽しく」過ごせる【力】を身につけることによって、事業所をはじめ、他の場所でも自分の居場所が作れる/広げていけるようにしていきます。 例 集団遊び/活動（教室内のルール作り/集団スポーツなど） SST（個別/複数名での意見交換など） 自由時間（トランプ/かるたなどのカードゲーム）													
家族支援		・個別面談の実施（2回/年以上） ・連絡帳や送迎時に、その日の様子を共有と報告 ・子育て/学校での困りごとが起こった際の相談援助（適宜） ・関係機関などの紹介/提案 ・保護者会/保護者参加型プログラムの実施（今後実施予定）				移行支援		・地域のスポーツクラブや習い事の情報収集と保護者に情報提供 ・本人の強みや好きなことを拡大していくことを目指し、色々な療育を行い、余暇時間の充足を行うことで、家庭での生活（留守番など）が出来るように、支援/相談援助 ・近隣の学校の場合は、徒歩送迎を行うことで、自主下校の練習							
地域支援・地域連携		・各関係機関（相談支援/他事業所/学校など）と会議を行い、児童の情報共有や支援の方向性を揃えることを行っています。 ・今後、地域活動への参加（清掃活動など）を行い、地域の方々にも事業所や子どもたちのことを知ってもらう活動を実施予定 ・児童館などでのイベント参加				職員の質の向上		・各種職場内研修を実施（1回/2カ月） ・学校見学/学園祭などを訪問 ・外部研修に参加（適宜） ・朝礼/終礼を実施（支援方法や活動内容について、意見交換など）							
主な行事等		季節に合わせて、イベントや行事を行っています。（例：お花見/野菜の収穫と調理実習/夏祭り/クリスマス会/初詣など） また、ミニ運動会など、日頃の療育活動の成果を発表する機会を設けています。													